

## ラボ・センター紹介

### VSEセンター (Japanese VSE Center)

#### 代表



神武 直彦 准教授

専門分野：  
宇宙システムおよびユビキタスシステムのデザインとマ  
ネジメント、コンピュータサイエンス

#### メンバー

白坂成功准教授・当麻哲哉准教授(SDM研究科教員)

古石ゆみ・塩谷和範・静永誠・竹内元子(SDM研究所研究員)

修士課程学生、博士課程学生

VSEセンターは、中小企業あるいは大企業の小規模な部門やプロジェクトといった小規模組織(Very Small Entities、以下VSE)でのシステム開発におけるプロセスの改善を推進する組織として2011年2月に発足致しました。実際のシステム開発の現場の改善に貢献することを目指し、産官学連携によって既に幾つかの成果を生み出しています。

#### 【設立の経緯】

近年、システム開発は開発コスト削減のため、IT技術の空洞化とグローバル化が進んでいます。国内IT企業は国際競争力を高めるべく、品質向上・生産性向上への取組みや最新技術の獲得・人材育成への投資を今まで以上に強化することが求められています。このような状況に対応するために、様々な企業ではCMMIやISO/IEC15504などのプロセスモデルに基づく開発プロセス改善を行っています。しかしながら、CMMIやISO/IEC15504などのプロセスモデルに基づく開発プロセスの改善活動を行うためには専門的な人的リソースが必要であり、そのようなリソースを用意することができる中小企業は殆どないという問題があります。また、大企業であっても、その内部のプロジェクトの多くは小規模であり、そのようなプロジェクトでは人的リソースが限られているという同様の問題があります。

このような状況に対応するために、2011年1月にソフトウェア開発プロセスの国際標準ISO/IEC29110が制定されました。これは、VSE向けのソフトウェア開発プロセスモデルで、中小企業あるいは大企業の小規模な部門やプロジェクトで容易に活用できることを目指しています。限られた資源で、最新の技術等を有効に取り入れながら、効率の良いプロセス診断を繰り返すことにより、ソフトウェア開発における継続的プロセス改善の定着が可能となります。このような状況を踏まえ、世界各地でISO/IEC29110を活用したプロセス改善活動を推進するVSEセンターが設立されています。日本においてもVSE向けプロセス改善へのニーズが高まりつつあることもあり、VSEセンターを設立致しました。

#### 【活動目的・活動内容】

VSEセンターの活動の目的は以下の2つであり、現在までの間に以下のような活動を行いました。

- (1) IT企業の体力を高め国際競争力を強化する
- (2) 日本が得意分野とするモノ作りのプロセスを構築し、国際的優位な立場を築く

### 第1回VSEフォーラムの開催

第1回VSEフォーラムを2011年6月15日に協生館にて実施致しました。プロセス改善、プロセスアセスメントに関する国内外の動向やISO/IEC29110の適用事例の紹介、VSEセンター設立の経緯と今後の活動計画などについての講演ならびに活発な議論が行われました。なお、このフォーラム開催に伴い、日本情報産業新聞および日経BP社にVSEセンターに関する記事を掲載頂きました。

### ISO/IEC29110を用いたプロセスアセスメントの実施

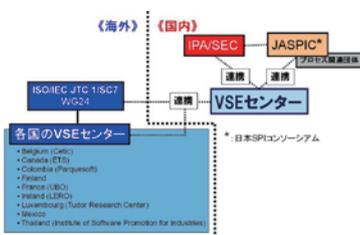
中小企業および大企業それぞれ1社の複数のプロジェクトに対してプロセスアセスメントを実施致しました。VSEセンター所属の教員、研究員、学生がチームを組んでそれぞれのプロジェクトを担当し、成果物レビュー、インタビュー、評定などの活動を経て、評価結果の報告とプロセス改善に向けての提言を行いました。

### 標準化会合ならびに国際会議への参加

世界各国のVSEセンターとの連携ならびに、国際標準化活動への寄与を目的として積極的に関連する会議に参加しています。2011年5月にパリで開催された国際標準化会議や11月にダブリンで開催された国際会議には、塩谷和範研究員が参加し、我々の活動状況を報告するとともに国際標準化に関する議論に参加致しました。また、プロセス改善に関する欧州の国際会議には、竹内元子研究員が研究成果を報告し、Best Paper Awardを受賞致しました。

### 教育セミナーの実施

プロセス改善に関するスキルや知識の普及を目的として学内および産業界に対してセミナーを開催しました。教員や、古石ゆみ研究員や静永誠研究員が中心となって学内の希望者や幾つかの企業に対して複数回に渡るセミナーを実施しました。なお、この活動を広く一般に公開するために関連する複数の組織との連携調整を進めており、一例としては、独立行政法人情報処理推進機構との連携によって2012年に複数回に渡る研修を実施する予定です。



VSEセンターと国内外関連機関との連携



VSEフォーラムでの白坂成功准教授の講演



Euro SPI Conference での竹内元子研究員の論文発表

#### 関連記事:

- ▶ VSEセンター (<http://www.vse.jp/>)
- ▶ ISO/IEC 29110 ([http://www.iso.org/iso/iso\\_catalogue/catalogue\\_tc/catalogue\\_detail.htm?csnumber=51154](http://www.iso.org/iso/iso_catalogue/catalogue_tc/catalogue_detail.htm?csnumber=51154))
- ▶ 第1回VSEフォーラム開催(SDMニュース2011年7月号) ([http://www.sdm.keio.ac.jp/pdf/sdmnews/SDM\\_News\\_201107.pdf](http://www.sdm.keio.ac.jp/pdf/sdmnews/SDM_News_201107.pdf))
- ▶ 竹内元子SDM研究所研究員の論文がEuro SPI ConferenceにてBest Paper Awardを受賞(SDMニュース2011年8月号) ([http://www.sdm.keio.ac.jp/pdf/sdmnews/SDM\\_News\\_201108.pdf](http://www.sdm.keio.ac.jp/pdf/sdmnews/SDM_News_201108.pdf))
- ▶ 神武准教授が代表のVSEセンターの取材記事が日本情報産業新聞に掲載 (<http://www.sdm.keio.ac.jp/news/2011/07/12-165341.html>)



慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属 SDM 研究所

〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1 慶應義塾大学 協生館

Tel: 045-564-2518 Fax: 045-562-3502 E-mail: [sdm@info.keio.ac.jp](mailto:sdm@info.keio.ac.jp)

